

# 「事業名：公・民・学共創による持続可能まちづくりを通じた復興知人材育成」 令和3年度補助事業の実績・成果

東京大学 連携市町村：新地町

連携市町村との協定締結日：平成30年6月3日

現地拠点：相馬郡新地町駅前1丁目5番地 観海プラザA棟1階 新地アーバンデザインセンター（UDCしんち）

## 事業のポイント

福島県新地町において、地域エネルギーシナリオ作成、住民参加促進、地域状況を伝えるメディア作成や地域活動支援、それらを統合した持続可能まちづくりを、現地拠点UDCしんちを活用して公・民・学共創により実践する。これにより、復興の状況や内外の社会情勢の変化に順応し、創造的にまちづくりに貢献する復興知人材を育成する。

## 今年度の活動実績

- 現地拠点UDCしんちを事務局として新地町分科会を運営し、本事業における教育研究活動を地域の関係者との協働により実践へと展開するための連携構築を行なった。
- 新地町や浪江町での調査研究活動と、大学院生の参画による教育活動を行なった。大学院正規科目は3科目を開講し18名が履修。他大学所属者を含めて、本事業に参画する教員・研究者ら17名がオンライン活動や予備調査等もあわせて46日にわたり新地町で活動した。
- 尚英中学校「エネルギー学習」と新地高校「特別授業」を実施した。

## 今年度の成果

- 研究教育活動や分科会活動の多様化を通して、地域の住民団体との新たな連携が開始された。教育研究活動を地域の関係者との協働による実践活動へと展開する4つのワーキンググループを設立した。
- 営農型太陽光発電の導入可能性評価、農・食・エネルギーと地域活性化、住民参加による広場の利活用等を主題とする、新たな教育プログラムの開講が可能となった。
- 新地町に加え、浜通りでの活動を開始することができた。また、連携先大学の研究者の現地での活動も開始した。

